

岩手沿岸南部クリーンセンター基幹的設備改良事業整備運営事業者選定委員会
第1回 議事要旨

<概要>

開催日	令和6年9月26日(木)
開催時間	午後1時50分から午後2時40分まで
開催場所	岩手沿岸南部クリーンセンター2階研修室
委員長	平松福壽
委員	八鍬浩、齊藤貢、晴山渉 欠席：安居清隆
事務局	岩手沿岸南部広域環境組合 和賀事務局長、新沼事務局次長、藤井主幹 八千代エンジニアリング株式会社 4名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付(机上配付) 3. 事務局長あいさつ 4. 委員紹介 5. 委員長の選出 6. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 選定委員会の役割及び進め方について (2) 本事業の概要について (3) 選定委員会の議題及びスケジュールについて (4) その他 7. その他 8. 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 岩手沿岸南部クリーンセンター基幹的設備改良事業整備運営事業者選定委員会の役割及び進め方 ・資料2 岩手沿岸南部クリーンセンター基幹的設備改良事業の概要 ・資料3 事業者選定委員会の議題及びスケジュール ・参考資料1 岩手沿岸南部クリーンセンター基幹的設備改良事業整備運営事業者選定委員会設置要綱 ・参考資料2 岩手沿岸南部クリーンセンター基幹的設備改良事業整備運営事業者選定委員会委員名簿

1. 開会

2. 委託状交付（机上配付）

3. あいさつ

（和賀事務局長よりあいさつ）

4. 委員紹介

（委員紹介）

5. 委員長の選出

互選により、委員長に平松委員を選定した。

6. 議事

（1）検討委員会の議事及びスケジュール

事務局（資料1により説明）

委員長 落札者決定後、議事録は全文又は要約どちらで公表予定か。

事務局 要約を公表予定である。

委員長 発言内容に対する委員への確認はあるか。

事務局 各委員にご確認頂いたうえで公表する。

（2）本事業の概要について

事務局（資料2により説明）

委員長 基幹的設備改良工事は、全面的な改良か、又は一部対象機器のみの改良か。

事務局 健全度を評価したうえで、継続して使用可能な機器は使用する方針である。なお、二酸化炭素削減のために全面的に交換しなければいけない機器もある。

委員長 処理能力は、ごみ量の実態に合わせることも想定しているのか。

事務局 今後15年間、機器設備故障や定期整備期間中は2炉運転すべきごみ量が発生すると予測しており、処理能力を変更せずに2炉運転も視野に入れた基幹的設備改良工事となる。

委員長 2炉運転というのは決定事項ではないのか。

事務局 補助金については環境省に確認中である。2炉は前提ではあるが、基本1炉での運転になると想定している。

委員長 交付要件で二酸化炭素削減率が5%以上とあるが、定格運転との比較か、新設する場合との比較か。

事務局 現在確認中の部分もあるが、環境省の指針に記載されている計算式に準じて計算する。

委員長 工事範囲は、焼却施設のみか、又は破碎設備のような付随設備も含まれるのか。

- 事務局 全ての設備が事業範囲であるが、破碎設備の健全度調査では補修工事は不要となる可能性が高い。
- 委員 現在、本施設で資源ごみの中間処理は実施されているのか。資源ごみは基幹的設備改良工事と直接的は関係ないと想定されるが、運営・維持管理業務との関係性について確認したい。
- 事務局 本施設における資源ごみの受入れ及び民間施設での有効利用は、継続予定である。そのため、基幹的設備改良工事の範囲ではないが、運営の要求水準書には規定する。
- 委員 基幹的設備改良工事の範囲については、1 炉を予備扱いとして 1 炉のみ工事する考えもあるため、費用面も含めて検討した結果、2 炉とも工事とする方針であれば問題ないを考える。
- 委員 SPC が変更した場合、スラグ等の有効利用に問題は生じないのか。
- 事務局 スラグ等の有効利用に問題は生じない考える。
- 委員長 構成市町の一般廃棄物収集担当課とも連携・協調を図ってほしい。

(3) 選定委員会の議題及びスケジュールについて

- 事務局 (資料 3 により説明)
- 委員 事業提案書受付後、基礎審査の結果をもって応募者ヒアリング等の手続きが発生するが、いつ実施するか。
- 事務局 基礎審査については第 6 回選定委員会内で実施予定である。
- 委員 現事業者以外の事業者より入札公告後に図面閲覧を要求された際、対応できるようにしておく必要がある。
- 事務局 該当図面は膨大な資料になると想定されるため、早い段階から準備を進める。
- 委員 現事業者以外の事業者が長寿命化工事を実施しようとした際に対応できるよう、現事業者と物品供給契約を結ぶ必要がある。
- 委員長 基礎審査が不合格だった場合、その後の応募者ヒアリングは中止となるため、工夫する必要がある。図面についてはコンサルタントにもご助力いただきたい。
- 事務局 ご意見を踏まえ今後詳細な内容を検討する。

(4) その他 (特になし)

7. その他

- 事務局 本委員会後、施設見学を予定している。また、次回第 2 回委員会は、令和 6 年 11 月中旬の開催を予定している。

8. 閉会